

さまざまな「想い」を重ねるまちづくり

改善します

新たな「想い」も「かたち」にします

満足度調査でわかる 新たな「想い」

環境に関するもの

工事で緑が少なくなってしまいました。少しでも多く復元できませんか。

新たな危険に関するもの

道路が広がり渋滞はなくなりましたが、以前よりも、交通量・スピードがアップし危険になりました。

利便性に関するもの

立体交差や中央分離帯の設置で、安全性は高くなりましたが、地先の利用者には不便になりました。

対応策の事例

近隣の自治体や小学校等呼びかけ、周辺の森で採取して種から育てた苗木を植栽するイベントを行いました。



植栽の様子

公安委員会と協議し、新たに信号を設置するとともに、速度制限・スピード抑制の路面表示などを行いました。



マーキング

・地先の利用者が通行しやすい副道をつくる
・横断者の多い場所だけ中央 分離帯を撤去するなど、使いやすさに配慮した改良を行いました。

みなさんへ「想い」を伝える取り組み

配慮します！工事の時にできること



排水性（低騒音）舗装 通常の舗装
排水性（低騒音）舗装の採用

環境への配慮

わかりやすい説明



工期の短縮

わかりやすい工事看板の設置

知ってほしいな！みちのこと

PR

ホームページやパンフレットによるPRや、道の日(8/10)、土木の日(11/18)、地域のお祭りに合わせたPRイベントを開催し、道路整備の方針をお知らせしていきます。

教育

小学生向けパンフレット



ストリートウェディング

道路空間の新たな活用